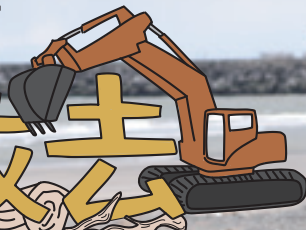


北海道屈指のサーフスポット

浜厚真海岸

流木撤去



浜厚真海岸の魅力を向上

浜厚真海岸は、年間6万人以上のサーファーが訪れる道内屈指のサーフスポットです。昨年7月には、日本サーフィン連盟公認大会「厚真町長杯」が開催され、全国から大勢のサーファーが訪れたほか、避暑を求めて多くの家族連れも訪れます。

来訪者に気持ちよく利用してもらうため、厚真ライオンズクラブや地域住民、サーファーたちが、ごみを拾うビーチクリーン活動をしています。移動できない流木などはそのまま残さざるをえない状況でした。このため町は、新年度予算に臨海ゾーン環境整備事業としてふるさと納税やロータリークラブからの寄付などを活用した予算を計上。本格的なマリンスーツ到来を前に4月

18日から、10日間ほどかけて流木を撤去し、雨水が貯まりやすい低地帯の砂をならして車両を乗り入れやすくしました。

海岸には、数メートルの太木や角材など、大きささまざまな流木が打ち上げられ、中には砂に埋まっているものもあります。委託業者は、重機を使って打ち上げられた流木を集めてトラックで回収・撤去しました。再生可能な流木は、パルプ用のチップや燃料として再利用されます。

浜厚真海岸では今年も、各種サーフィン大会や町内小学校のサーフィン体験授業などが行われる予定です。このたびの流木撤去が、浜厚真海岸の魅力向上の一助となることが期待されます。

町外からの利用者



千歳市から訪れる
二宮裕貴さん

仕事の前に浜厚真でサーフィンを楽しみます。これまでは流木があるので、車の乗り入れには苦労していましたが、撤去されたことで海岸の近くに車を止められるようになり便利になりました。浜厚真は北海道の中では一番有名なサーフスポットで、全国から多くのサーファーが訪れます。今回の流木の撤去や、大会の誘致など、厚真町に住んでいない僕らを、町や地域の皆さんが歓迎してくれるのは嬉しいです。感謝の意味も込めて、ふるさと納税は厚真町と決めていきます。

